



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橋通東3-1-22  
宮崎合同庁舎  
TEL0985(38)8821



宮崎労働局HP

## 令和7年5月統計

- 【労働災害発生状況】 死亡災害4件、死傷災害451件  
(年計・コロナ感染症を除く休業4日以上の死傷災害)
- 【有効求人倍率】 1.27倍

# 宮崎労働局で働くということ

## ～令和7年度新規採用職員等座談会を開催しました～



平成29年4月に創刊した「GOGO!宮崎労働局」が100号となる節目を迎えました。

今月号では、特集記事として、令和7年度新規採用職員等座談会の様子を掲載いたします。

座談会は、和やかな雰囲気の中で、5名の職員が真摯に前向きに質問に回答している姿が印象的でした。

それでは、早速ご覧ください。



参加職員のみなさん  
(写真右から)  
宮崎労働局総務課  
**河野さん**  
同労災補償課  
**幸津さん、兼城さん**  
宮崎職業安定所  
**重富さん**  
都城労働基準監督署  
**五反田さん**

## 現在の仕事

河野) 非常勤職員の給与や署所の電気料金、旅費等の支払いを行う会計関係業務です。

兼城) 診療費が適切かどうか医師が集まってチェックする診療費審査委員会、工作中や通勤中に事故にあわれた方の労災補償業務、労災勘定の会計事務を担当しています。

幸津) 工作中や通勤途中でのけがや病気によって体の一部を失ったり、障害が残ったりした方に対して、義肢などの補装具の購入・修理費用を支給する仕事をしています。

五反田) 労災保険による給付を行っています。工作中にけがをした方に治療費の給付や休業中の給与の補填を行い、困っている人に直接補償を行う仕事です。

重富) 失業給付や育児中の休業給付、60歳以上の賃金の補填に係る給付等の手続きをしています。

## 志望動機

河野) 県庁を希望していたのですが、説明会でより専門的に業務に携われる労働行政に興味を持ちました。

兼城) 私自身過去に労災に巻き込まれた経験があり、被災者を助ける仕事がしたいと思ったからです。

幸津) ももとは市役所や県庁を希望していたのですが、労働局での業務は「仕事」に関するもので、人々にとって身近であるという点や、説明会での「専門的にコツコツと仕事ができる」との説明が決め手で選択しました。

五反田) ご縁をいただき県内のみでの転勤が魅力の労働局を選びました。

重富) 人の役に立つ仕事を希望していて、身近に長時間労働や就職活動に悩む友人もいたことからそうした方の支援をしたいと思います。



◎ ワークライフバランスがとりやすい(定時退庁や月一休暇の推奨、ハラスメント防止対策)

## 労働局のここが推し!

◎ 風通しが良く、相談したり質問しやすい

◎ 一階にある食堂(栄養バランス良き)

など



## 説明会や官庁訪問

参加した方からは、「説明会はとて和やかで疑問のあった点もしっかり理解できた。」「官庁訪問は面談の前に緊張をほぐして下さりより労働局で働きたいと思えた。」「しっかりと仕事内容を説明してくれて入省後にギャップを感じなかった。」と好評でした。

## やりたい仕事できていますか？

幸津) やりたかった仕事で学ぶことができているととても楽しいです。河野) 労災業務を希望していましたが、現在の会計業務でも接することができます。

兼城) 法律、保険、医療、経理など様々な分野の知識を必要としますが、これからの業務に役立つ経験ができています。

五反田) 局と比べて署では電話相談や窓口対応で労働者との距離が近いです。その分困っている人の助けになったときはこの仕事について良かったと思います。

重富) 若者応援、新卒応援HWを目指しており、現在の窓口業務でお客様に接するノウハウを学ぶことができます。

## 労働局の「社風」をひとことで表すと？

- ✓ 若手の影響力が大きい(戦力として意見を聞いてくれる)
- ✓ 伝統を重んじる歴史ある組織文化(その分、書類もたくさんあります)
- ✓ アットホーム(非常勤さんも親身になって下さいます)
- ✓ 横のつながり(組合活動などで顔見知りが増えます) など



## 研修やOJTはいかがですか？

五反田) それぞれが所属する労働基準行政や職業安定行政といった垣根を超えて親睦を深められたことが一番の収穫でした。

重富) メールのCCやBCCについても教えてくれたのはありがたかったです。

兼城) とても充実していて、辞書のような厚みの資料も実務経験後に見直すと役立つことが多いです。

幸津) 上司や先輩がしっかりサポートして下さいます。

河野) 業務の研修は専門性が高く、ビジネスマナーの研修が非常に勉強になりました。



ここからは、参加者のみなさんのバックボーンを踏まえ、個別にお話を伺っていきます。

## 学生から社会人になって思うこと

五反田) 自分の行いが人に与える影響という意味での「責任」を強く感じます。

重富) 勉強もバイトも受動的な面がありましたが、仕事は相手があることでもあり、計画性や主体性が求められます。

幸津) 年齢や立場の違う方々と接することで人間関係の幅が広がると同時に責任感も感じます。

河野) 学生の頃は自分主体でしたが、社会人になると周りのことも考える必要があり、責任重大だと思えます。

## 業務のやりがい

五反田) 局の仕事を覚えて署に異動になったことで、仕事と仕事のつながりをみるようになるになり、更なるやりがいに通じています。

重富) 企業や相談者に根気強く向かい合って問題が解決したときはやりがいを感じます。相談者が自分のアドバイスに感謝してくれたときも同様です。



## 民間企業との違い

兼城) 専門性の高い業務が多く、法改正があればそれに対応していくため、日々知識をブラッシュアップしていく必要があります。4月に一斉に異動があるので、前任者の引き継ぎ書を頼りに実務に入ったのですが、「徴収済み額報告書を毎月第五開庁日に提出」と書いてあったのを見ても、まず第五開庁日がわからない(笑)。専門的な用語や手続きが多く、最初は戸惑うこともありましたが、質問しやすい雰囲気の中、先輩方から学ぶことも多いので自然と業務を覚えることができました。

## 目指す将来像

五反田) お世話になった局の課長、今まさにお世話になっている署の課長をはじめ上司の方々です。

重富) 目の前の業務のエキスパートになった未来の自分です。



## 宮崎労働局HP採用情報

宮崎労働局や先輩たちの声を紹介したパンフレットなどたくさんの情報が掲載されています。ぜひご覧ください。



8月下旬のインターンシップの情報も！

